

結婚マーケット調査2025

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：牛田 圭一）が企画運営する『リクルートブライダル総研』では、結婚や結婚式の実施について背景など詳細を把握するために、「結婚マーケット調査2025」を実施しました。調査結果の一部を抜粋してご報告申し上げます。

結婚トレンドについて、ゼクシィ会員への調査から結婚マーケット全体反映した市場調査へ対象を拡大

社会全体の結婚観・結婚式観を捉え、現在の結婚式の“リアル”を可視化。従来の「披露宴」一択ではない多様なスタイルの広がりが表れている。

<結婚式実施者向け調査 2024年版まで>

全国（沖縄県を除く）の『ゼクシィ』読者およびネット会員のうち、挙式または披露宴・ウエディングパーティーを実施した人（回答者は妻）

<結婚式実施者向け調査 2025年版>

「国内挙式」「国内での披露宴・ウエディングパーティー」「国内での結婚を機とした食事会（会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会）」のいずれかを実施したと回答した、全国20～49歳の男女

1. 結婚を機としたウエディングイベントの実施率（P4～5）

- 結婚を機としたウエディングイベントの実施率は、全体で73.5%。

※ウエディングイベントの実施率：「挙式」「披露宴・ウエディングパーティー」「結婚を機とした食事会（会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会）」「スタジオ撮影」「ロケーション撮影」「エンゲージメントフォト」「その他のフォトグラファーに依頼したフォト」のうち、いずれか1つ以上実施した人（これから実施する予定で、時期や内容もほぼ決まっている人を含む）の割合

- 「披露宴・ウエディングパーティー」の実施率は43.1%となった。

2. 国内での挙式、披露宴・ウエディングパーティーの人数や費用（P6～9）

- 招待客人数は、挙式と披露宴・ウエディングパーティーともに実施した人では平均57.2人。
- 費用の総額は、挙式と披露宴・ウエディングパーティーともに実施した人では平均298.6万円。最大の価格帯は300～350万円で、スタイルの多様化により、中・高単価帯の需要も一定数ある。

3. 結婚式が持つ意味や価値（P10～14）

- 披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会を通して得たことは、『実際に自分たちに合った披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会ができた』が「そう思う・計」78.3%で最も高い。
- 未婚者においては、ゲストとして出席することで、恋愛・結婚・結婚式への意欲が高まる。また、子どもがいるゲストにとっては、結婚式の参列を通して、自分の子どもの結婚・結婚式への期待が高まる。

4. 実施スタイルの多様化（P15～22）

- 『挙式、披露宴・ウエディングパーティーの内容は、定番やしきたりにとらわれず、自分たちの価値観に合った自由なやり方をすればよいと思う』が「そう思う・計」74.5%と高い。
- 「挙式のテーマやコンセプトを決める」が定番演出に続き、「家族とのファミリーミート」や「親からのジャケットセレモニー」など、家族に関わる演出、新郎も主役になる演出が見られる。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://help.zexy.net/s/ask?faqId=00000000000003571>

マスメディアの方はこちらより <https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【既婚編】調査概要

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

<予備調査>

【調査期間】 2025年4月15日（火）～5月1日（木）

【調査対象】 全国20～49歳の男女

<本調査>

【調査期間】 2025年5月12日（月）～5月20日（火）

【調査対象】 2024年4月～2025年3月に結婚したと回答した、全国20～49歳の男女
※グラフ内で「全体」と表記しています。

【集計サンプル数】 821人

		集計サンプル数										
		北海道	東北	北関東	首都圏	北陸甲信越	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄	
男性	初婚	20代	4	5	5	13	3	8	10	5	2	5
		30代	2	10	5	43	7	10	22	2	6	7
		40代	5	4		12	9	8	11	3	2	5
	再婚	20代	1	1	1	2	1	1	5	2	1	3
		30代	1	4		7	5	4	8		3	1
		40代	1	3	2	4	3	6	5	1	1	
女性	初婚	20代	8	15	8	42	28	28	38	11	8	18
		30代	14	9	9	47	17	21	32	12	5	21
		40代	2	4		9	4	4	6	4	2	4
	再婚	20代	1	1	3	2	2	5	5	4	1	3
		30代	3			8	4	3	2	1	3	6
		40代		5	1	3	4	2	2	3		

※「人口動態統計」（厚生労働省）の「婚姻件数」（「夫-妻の結婚生活に入ったときの年齢（各歳）：夫妻の平均婚姻年齢，初婚-再婚・都道府県（特別区-指定都市再掲）別」）から性・年代別およびエリア別でウエイト値を設定し、ウエイトバック集計を行った推計値を掲載しています。

【トレンド編】調査概要

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

<予備調査>

【調査期間】 2025年4月15日（火）～5月1日（木）

【調査対象】 全国20～49歳の男女

<本調査>

【調査期間】 2025年5月12日（月）～5月26日（月）

【調査対象】 2024年4月～2025年3月に「国内挙式」「国内での披露宴・ウエディングパーティー」「国内での結婚を機とした食事会（会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会）」のいずれかを実施したと回答した、全国20～49歳の男女
※グラフ内で「全体」と表記しています。

【集計サンプル数】 817人

		集計サンプル数										
		北海道	東北	北関東	首都圏	北陸甲信越	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄	
男性	20代	3	5	2	14	6	6	13	5	2	4	
	30代	5	12	8	39	17	22	28	17	2	16	
	40代	3	7	2	31	11	5	16	1	1	12	
女性	20代	7	11	7	44	23	31	40	19	3	24	
	30代	8	15	12	64	22	20	36	10	6	32	
	40代	4	3	1	26	3	9	10	4	1	7	

※「国勢調査」（総務省）の「婚姻経験者数」から性・年代別およびエリア別でウエイト値を設定し、ウエイトバック集計を行った推計値を掲載しています。

※2024年版まで実施していた『ゼクシィ結婚トレンド調査』とは調査対象が異なるため、本報告内容との過去比較はいたしません。

【ゼクシィ結婚トレンド調査2024調査対象】 全国（沖縄県を除く）の『ゼクシィ』読者およびネット会員のうち、2023年4月～2024年3月に挙式または披露宴・ウエディングパーティーを実施した人

【ゲスト編】調査概要

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

<予備調査>

【調査期間】 2025年5月27日（火）～5月29日（木）

【調査対象】 全国20～69歳の男女

<本調査>

【調査期間】 2025年6月11日（水）～6月14日（土）

【調査対象】 2024年4月～2025年3月に「国内挙式」「国内での披露宴・ウエディングパーティー」「国内での結婚を機とした食事会（会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会）」のいずれかにゲストとして出席したと回答した、全国20歳～69歳の男女

【集計サンプル数】 212人

	集計サンプル数					合計
	20代	30代	40代	50代	60代	
男性	38	31	18	12	15	212
女性	39	25	8	12	14	

※予備調査で抽出した本調査条件該当者全体（1年以内に「国内挙式」「国内での披露宴・ウエディングパーティー」「国内での結婚を機とした食事会（会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会）」のいずれかにゲストとして出席した人）の性別・年代ごとの構成比に合わせて、サンプルを割り付けています。

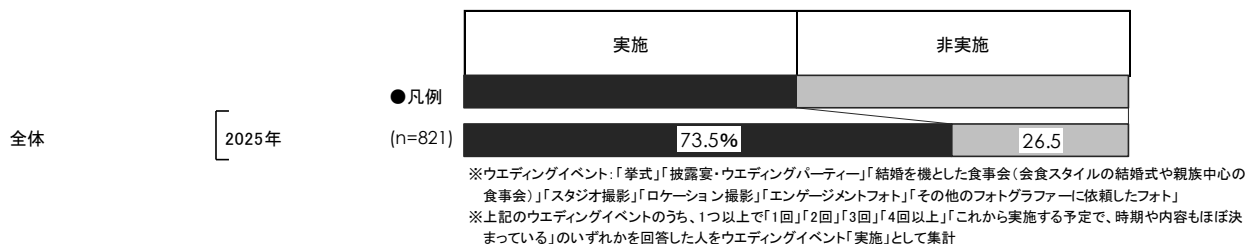
※【既婚編】【トレンド編】【ゲスト編】いずれも、図表中の「-」は回答なし、「0.0」は回答はあるが単位未満を示しています。

※「結婚を機とした食事会（会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会）」について、タイトルやコメント内で「結婚を機とした食事会」と略記している場合があります。

1) 結婚を機としたウエディングイベントの実施率

- 結婚を機としたウエディングイベントの実施率は、全体で73.5%。
- 「披露宴・ウエディングパーティー」の実施率は43.1%となった。

■ 結婚を機としたウエディングイベント全体の実施状況【既婚編】（全体／それぞれ単一回答）



■ 結婚を機とした各ウエディングイベントの実施率【既婚編】（全体／それぞれ単一回答）

		(%)								
		調査数(補正後)	挙式	披露宴・ウエディングパーティー	結婚を機とした食事会 (会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会)	写真撮影	スタジオ撮影	ロケーション撮影	エンゲージメントフォト	その他のフォトグラファーに依頼したフォト
全体	2025年	821	48.9	43.1	33.8	61.5	43.9	32.0	17.7	17.5
年齢別	24歳以下	142	54.1	46.7	44.5	72.7	50.9	29.0	33.3	20.6
	25～29歳	368	50.5	43.2	28.0	64.6	46.9	36.2	15.2	16.9
	30～34歳	166	46.7	42.0	33.2	55.7	41.0	27.7	11.8	17.4
	35～39歳	96	43.8	43.5	38.5	52.3	33.5	28.7	15.1	16.0
	40歳以上	49	38.5	34.6	40.0	44.1	31.0	29.7	16.8	16.3

※各ウエディングイベントについて、「1回」「2回」「3回」「4回以上」「これから実施する予定で、時期や内容もほぼ決まっている」のいずれかを回答した人を集計
 ※写真撮影:「スタジオ撮影」「ロケーション撮影」「エンゲージメントフォト」「その他のフォトグラファーに依頼したフォト」のいずれかを実施した人を集計
 0.0 : 当年の全体より5ポイント以上高い項目 0.0 : 当年の全体より5ポイント以上低い項目

2) ウエディングイベント組み合わせ別の実施率

- ウエディングイベント組み合わせ別の実施率は、「挙式、披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会（会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会）、写真撮影」の全てを実施した人が19.1%で最も高い。

■ ウエディングイベント組み合わせ別の実施率【既婚編】（全体／それぞれ単一回答）

		全体
		2025年 (n=821)
1	①挙式 ②披露宴・ウエディングパーティー ③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会) ④写真撮影	19.1
2	①挙式 ②披露宴・ウエディングパーティー ③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会)	2.9
3	①挙式 ②披露宴・ウエディングパーティー ④写真撮影	14.0
4	①挙式 ③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会) ④写真撮影	3.5
5	②披露宴・ウエディングパーティー ③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会) ④写真撮影	1.5
6	①挙式 ②披露宴・ウエディングパーティー	4.1
7	①挙式 ③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会)	1.1
8	①挙式 ④写真撮影	3.2
9	②披露宴・ウエディングパーティー ③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会)	0.4
10	②披露宴・ウエディングパーティー ④写真撮影	0.8
11	③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会) ④写真撮影	3.1
12	①挙式	0.9
13	②披露宴・ウエディングパーティー	0.3
14	③結婚を機とした食事会(会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会)	2.2
15	④写真撮影	16.3
16	いずれも非実施	26.5

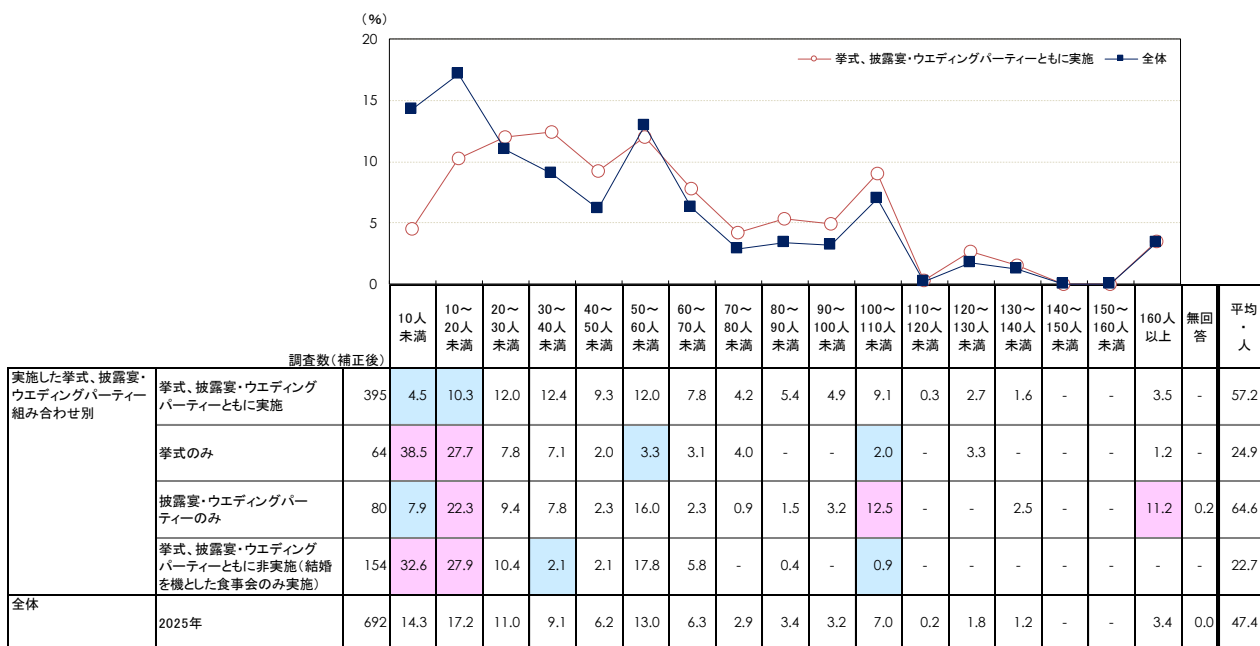
(%)

※各ウエディングイベントについて、「1回」「2回」「3回」「4回以上」「これから実施する予定で、時期や内容もほぼ決まっている」のいずれかを回答した人を集計
 ※写真撮影:「スタジオ撮影」「ロケーション撮影」「エンゲージメントフォト」「その他のフォトグラファーに依頼したフォト」のいずれかを実施した人を集計

1) 招待客人数

■ 披露宴・ウエディングパーティーおよび結婚を機とした食事会の招待客人数は、挙式と披露宴・ウエディングパーティーともに実施した人では平均57.2人。人数帯では「30～40人未満」「50～60人未満」「100～110人未満」にボリュームゾーンがあることから、少人数～大人数まで人数帯が幅広いことが分かる。

■ 披露宴・ウエディングパーティーおよび結婚を機とした食事会の招待客人数【トレンド編】
(国内での披露宴・ウエディングパーティーまたは結婚を機とした食事会実施者／数値回答)



※「挙式、披露宴・ウエディングパーティーともに実施」「挙式のみ」「披露宴・ウエディングパーティーのみ」には結婚を機とした食事会を実施した人が含まれる
0.0 : 当年の全体より5ポイント以上高い項目 0.0 : 当年の全体より5ポイント以上低い項目

■ 披露宴・ウエディングパーティーおよび結婚を機とした食事会の招待客人数の平均【トレンド編】 (国内での披露宴・ウエディングパーティーまたは結婚を機とした食事会実施者のうち、各項目の人数回答者／それぞれ数値回答)

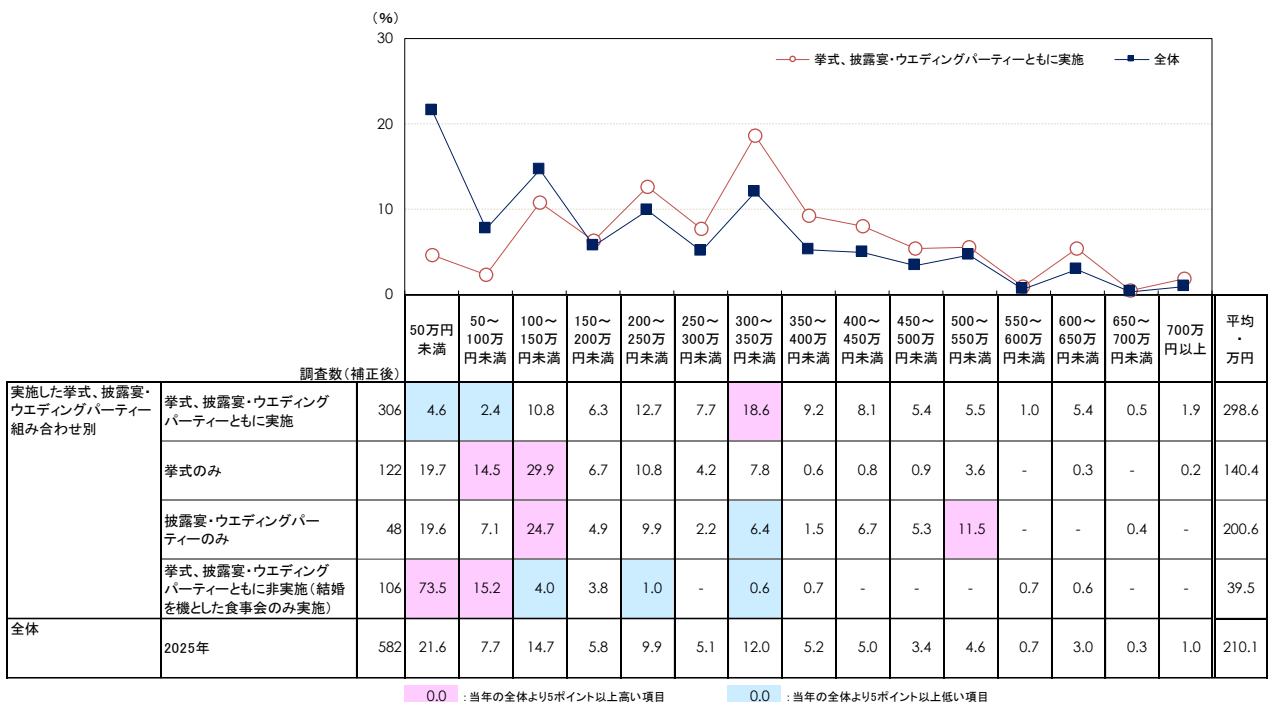
		(平均・人)				
		全体	実施した挙式、披露宴・ウエディングパーティー組み合わせ別			
			挙式、披露宴・ウエディングパーティーともに実施	挙式のみ	披露宴・ウエディングパーティーのみ	挙式、披露宴・ウエディングパーティーともに非実施(結婚を機とした食事会のみ実施)
夫側 間柄別	親・親族	12.7	14.7	8.3	13.5	8.8
	友人(勤務先以外)	6.1	8.2	2.8	7.6	0.8
	勤務先の上司・同僚	2.4	3.3	0.9	2.1	0.5
	親の友人・知人、近所の人	0.7	0.9	0.1	1.0	0.2
	その他	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0
妻側 間柄別	親・親族	12.9	15.0	10.2	14.1	7.8
	友人(勤務先以外)	6.0	8.5	2.0	6.3	0.8
	勤務先の上司・同僚	2.9	4.3	0.7	2.1	0.4
	親の友人・知人、近所の人	0.8	1.1	0.1	0.9	0.2
	その他	0.2	0.1	0.0	0.3	0.6

※親・親族:「親」と「それ以外の親族」の回答を合成して集計
※勤務先の上司・同僚:「勤務先の上司」と「勤務先の同僚」の回答を合成して集計
※親の友人・知人、近所の人:「親の友人・知人」と「近所の人」の回答を合成して集計
※間柄別人数は、「親」「それ以外の親族」「友人(勤務先以外)」「勤務先の上司」「勤務先の同僚」「親の友人・知人」「近所の人」「その他」それぞれを回答した人の平均であり、各項目の平均人数の合計は、全体の招待客人数とは一致しない

2) 費用

- 挙式、披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会にかかった費用の総額は、挙式と披露宴・ウエディングパーティーともに実施した人では平均298.6万円。最大の価格帯は300～350万円
で18.6%を占めている。低単価帯だけでなく中・高単価帯の需要も一定数ある。

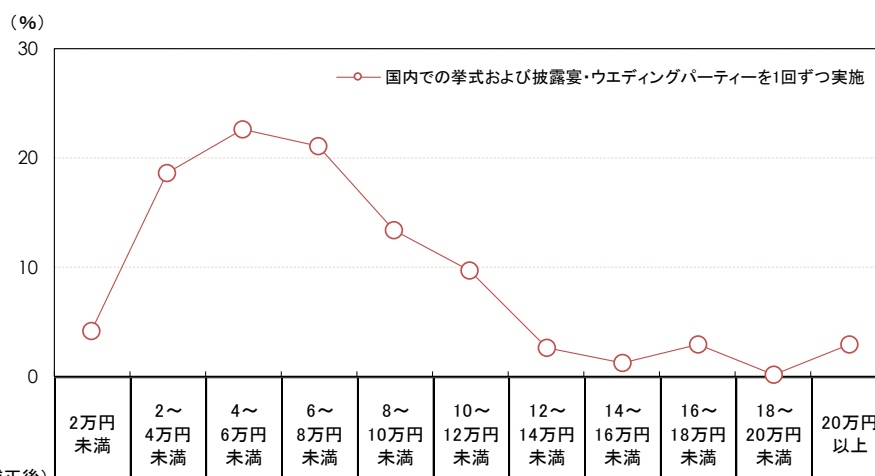
- 挙式、披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会にかかった費用の総額
【トレンド編】（国内での披露宴・ウエディングパーティーまたは結婚を機とした食事会実施者のうち、各項目の金額回答者／それぞれ数値回答）



- 挙式および披露宴・ウエディングパーティーを1回ずつ実施した人における招待客一人当たりの挙式、披露宴・ウエディングパーティー費用の平均は7.3万円。

■ 招待客一人当たりの挙式、披露宴・ウエディングパーティー費用【トレンド編】

(国内で挙式および披露宴・ウエディングパーティーを1回ずつ実施した人のうち、「挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額」および「招待客人数」の回答者／数値回答)



調査数 (補正後)	2万円未満	2~4万円未満	4~6万円未満	6~8万円未満	8~10万円未満	10~12万円未満	12~14万円未満	14~16万円未満	16~18万円未満	18~20万円未満	20万円以上	平均・万円	
国内での挙式および披露宴・ウエディングパーティーを1回ずつ実施	156	4.2	18.6	22.7	21.2	13.5	9.8	2.6	1.2	2.9	0.2	3.0	7.3

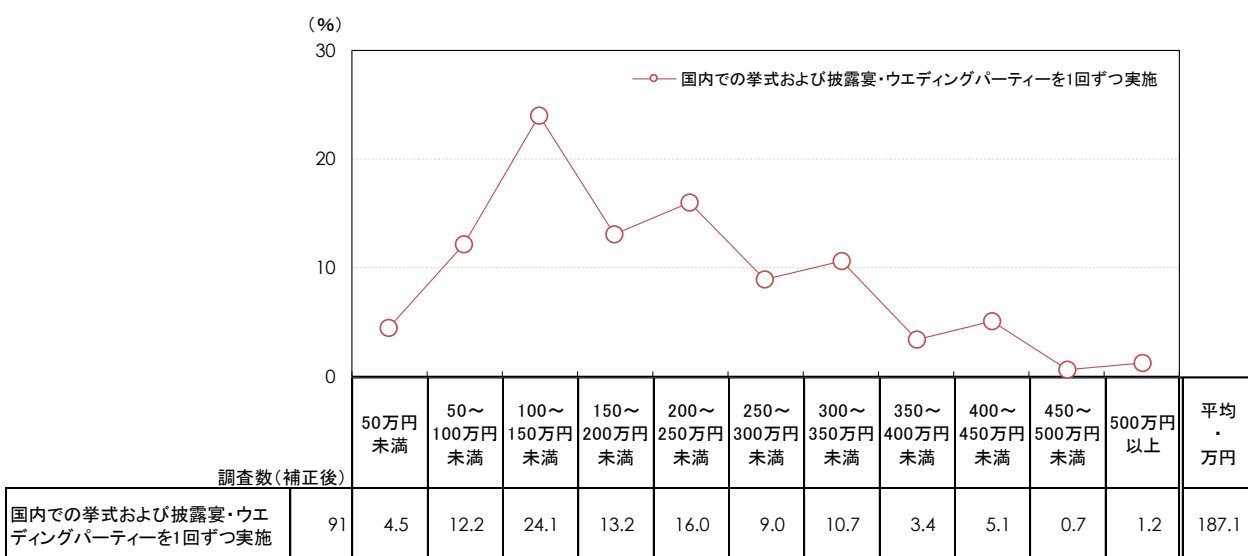
※各サンプルごとに「挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額(万円)」を「披露宴・ウエディングパーティー招待客人数(人)」で割って算出

3) ご祝儀

- 挙式および披露宴・ウェディングパーティーを1回ずつ実施した人のご祝儀総額の平均は187.1万円。
- 挙式および披露宴・ウェディングパーティーを1回ずつ実施した人の自己負担額の平均は158.9万円。

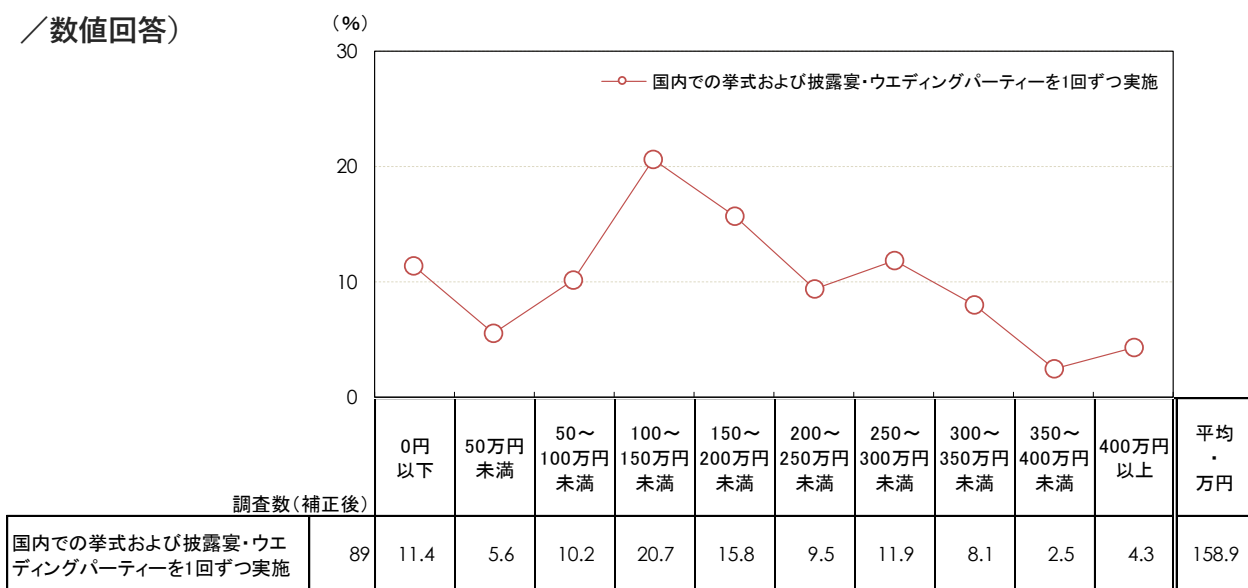
■ ご祝儀総額【トレンド編】

(国内で挙式および披露宴・ウェディングパーティーを1回ずつ実施した人かつご祝儀制の披露宴・ウェディングパーティー実施者のうち、金額回答者/数値回答)



■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティーにおける自己負担額【トレンド編】

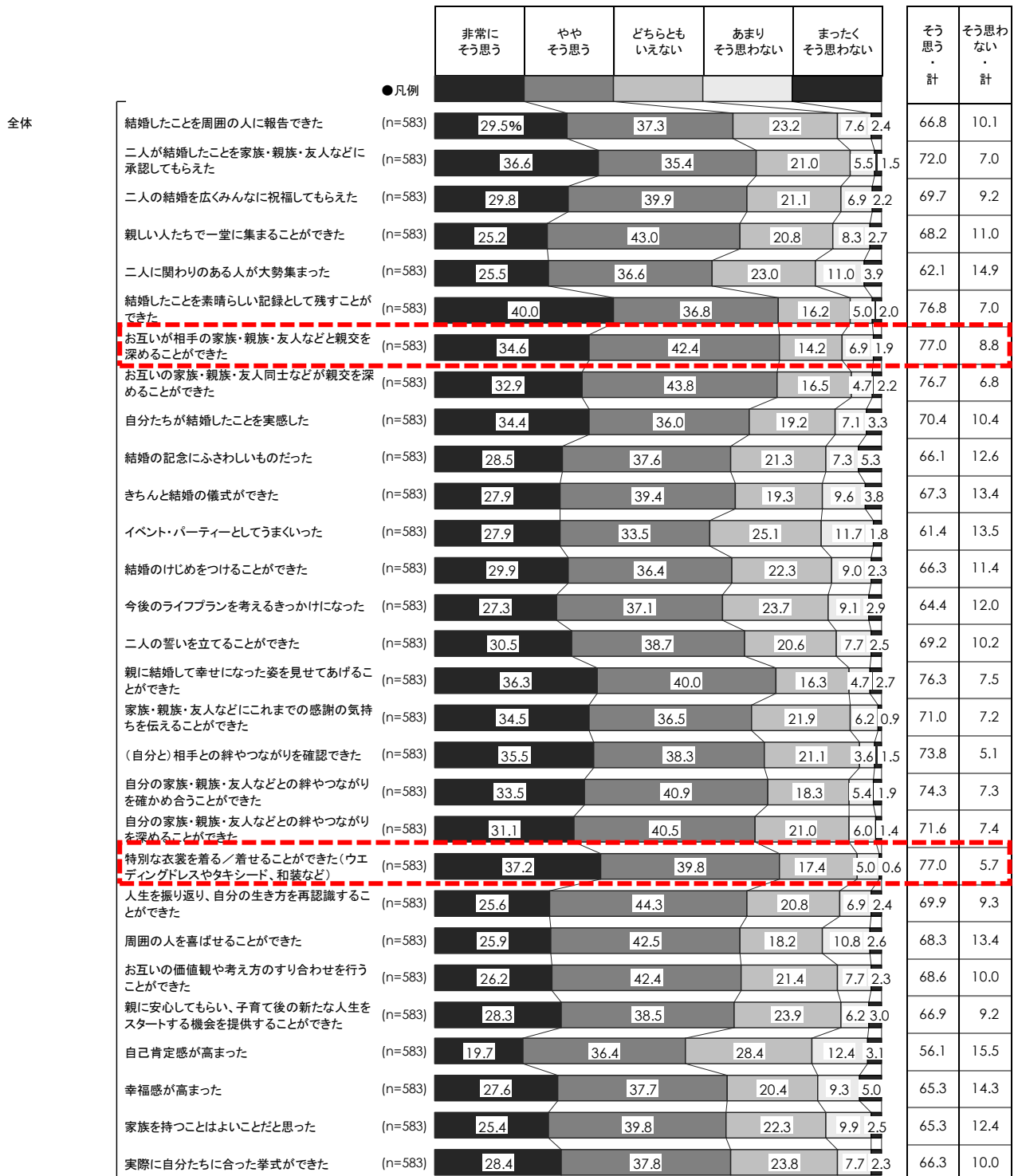
(国内で挙式および披露宴・ウェディングパーティーを1回ずつ実施した人のうち、「挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額」および「ご祝儀総額(または会費総額)」の金額回答者/数値回答)



1) 結婚式を通して得たこと

■ 挙式を通して得たことについては、『お互いが相手の家族・親族・友人などと親交を深めることができた』と『特別な衣裳を着る／着せることができた』がともに「そう思う・計」77.0%で最も高い。

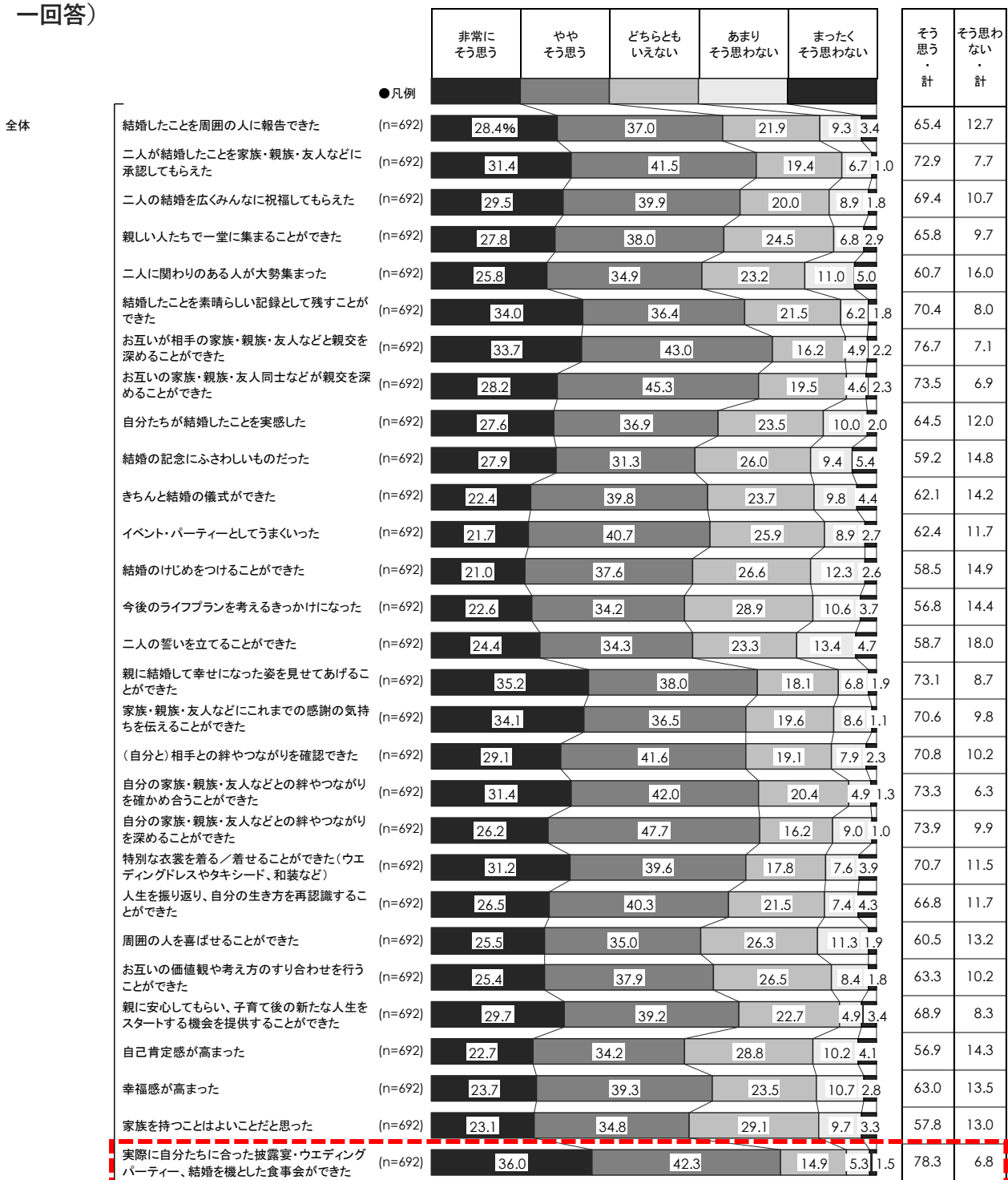
■ 挙式を通して得たこと【トレンド編】（国内挙式実施者／それぞれ単一回答）



■ 披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会を通して得たことについては、『実際に自分たちに合った披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会ができた』が「そう思う・計」78.3%で最も高い。

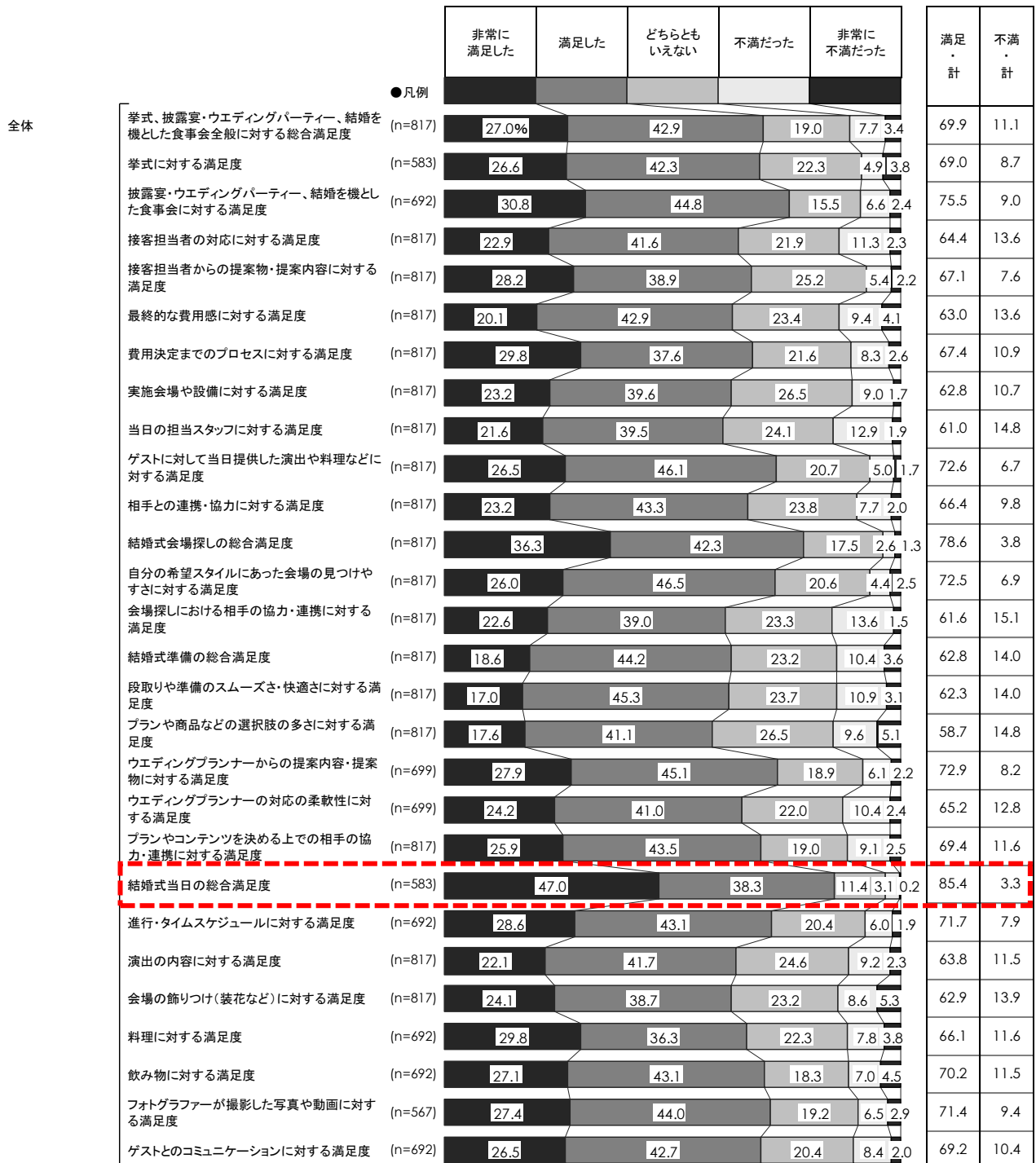
■ 披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会を通して得たこと【トレンド編】

(国内での披露宴・ウエディングパーティーまたは結婚を機とした食事会実施者/それぞれ単一回答)



■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会に対する満足度については、いずれの項目も高いが、『結婚式当日の総合満足度』は「満足・計」85.4%で最も高い。

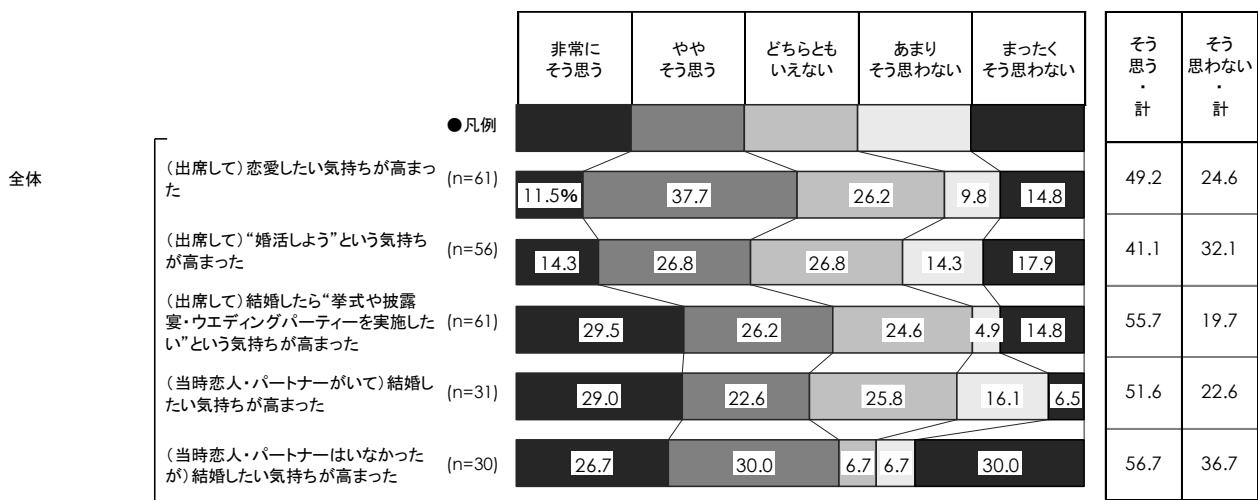
■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会に対する満足度
【トレンド編】（国内での各ウエディングイベント実施者/それぞれ単一回答）



2) ゲストとして出席した未婚者が結婚式から受けた影響

- 未婚者において、ゲストとして出席した直近の結婚式から受けた影響は、『（出席して）結婚したら“挙式や披露宴・ウエディングパーティーを実施したい”という気持ちが高まった』が「そう思う・計」55.7%であった。恋人・パートナーの有無に関わらず『結婚したい気持ちが高まった』も過半数となり、参列によってゲストの結婚意欲にも影響が出ている。

■ ゲストとして出席した直近の結婚式から受けた影響【ゲスト編】
（未婚者／それぞれ単一回答）

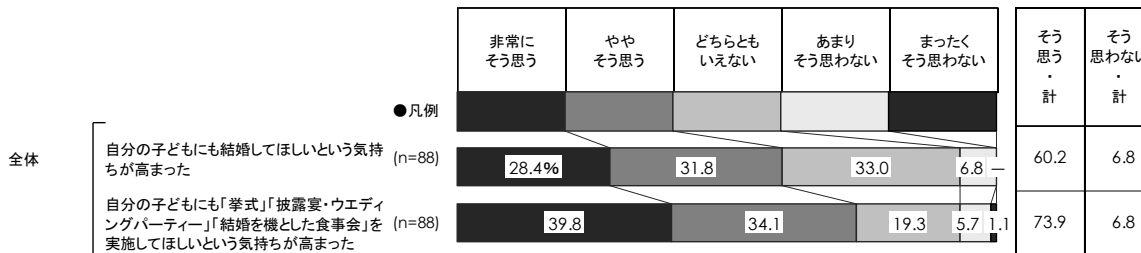


3) 自分の子どもの結婚に対する考え

- 子どもがいる人において、ゲストとして出席した直近の結婚式から受けた影響は、『自分の子どもにも結婚してほしいという気持ちが高まった』が「そう思う・計」60.2%、『自分の子どもにも「挙式」「披露宴・ウエディングパーティー」「結婚を機とした食事会」を実施してほしいという気持ちが高まった』が73.9%であった。
- 子どもの結婚式についての考えは、『親として、二人の幸せを確認できるよい機会だ』と『親にとって、二人を祝福するために必要な機会だ』がともに「そう思う・計」82.1%で最も高い。
- 子どもがいるゲストは、結婚式の参列を通して、自分の子どもの結婚や結婚式への期待が高まり、子どもの幸せを確認できる場、祝福するために必要な場と捉えている。

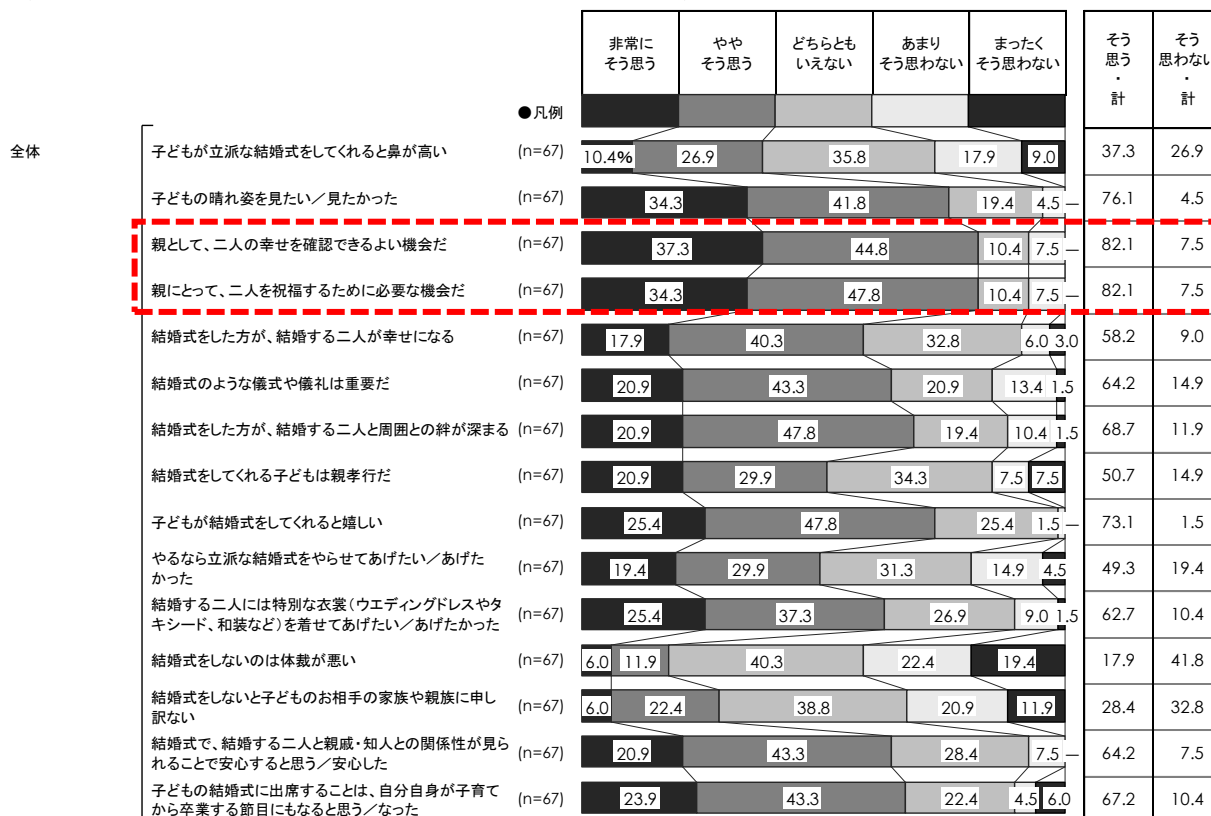
■ ゲストとして出席した直近の結婚式から受けた影響【ゲスト編】

(子どもがいる人／それぞれ単一回答)



■ 子どもの結婚式についての考え【ゲスト編】

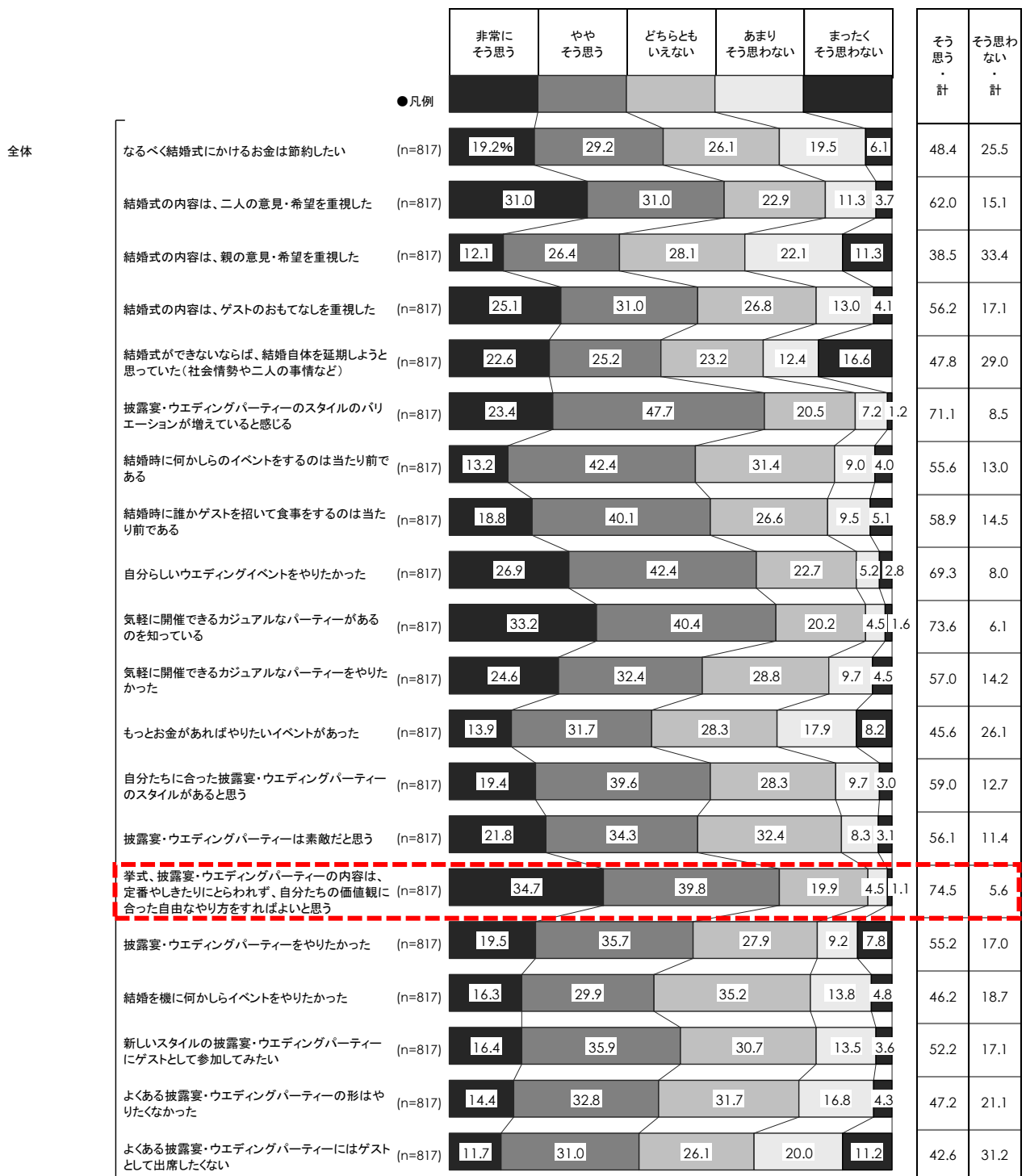
(40歳以上かつ子どもがいる人／それぞれ単一回答)



1) 結婚式・ウェディングイベントに対する考え方

■ 結婚式・ウェディングイベントに対する考え方については、『挙式、披露宴・ウェディングパーティーの内容は、定番やしきたりにとらわれず、自分たちの価値観に合った自由なやり方をすればよいと思う』が「そう思う・計」74.5%で最も高い。

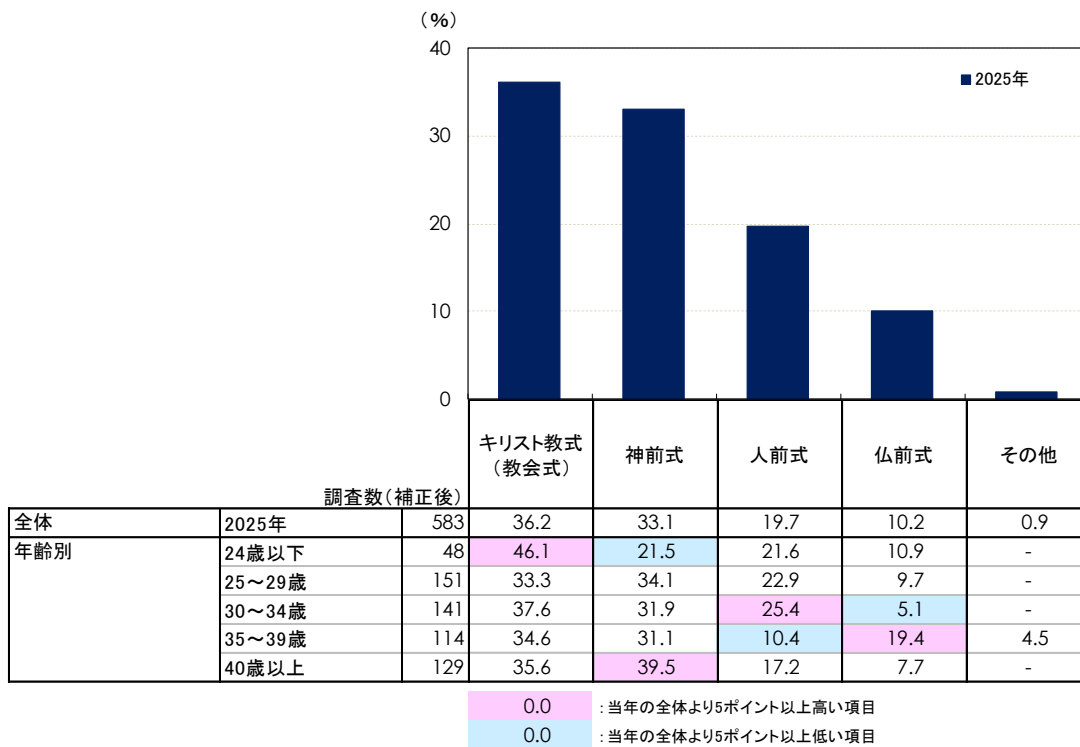
■ 結婚式・ウェディングイベントに対する考え方【トレンド編】（全体／それぞれ単一回答）



2) 実施した結婚式の形式

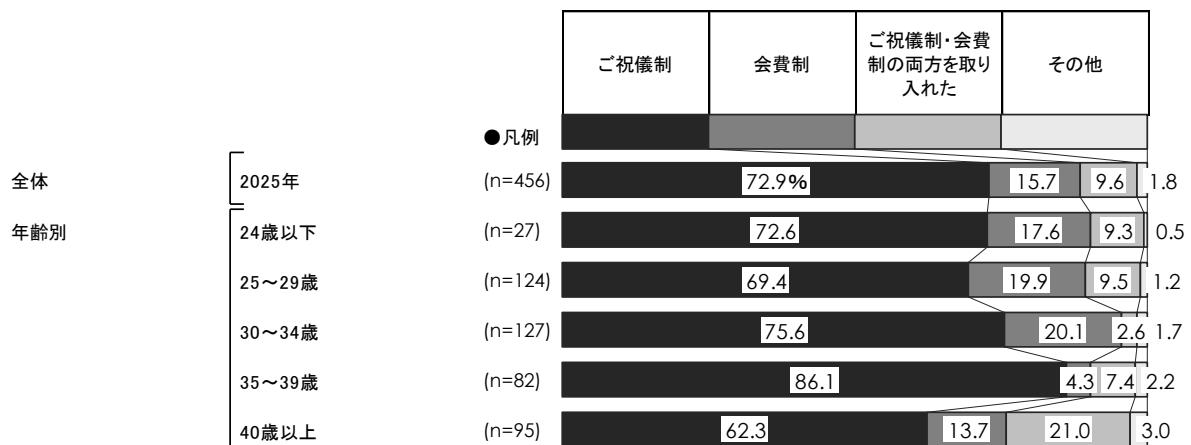
- 実施した挙式形式は、「キリスト教式（教会式）」が36.2%で最も高く、「神前式」が33.1%、「人前式」が19.7%で続く。
- 実施した披露宴・ウエディングパーティーの形式は、「ご祝儀制」が72.9%、「会費制」が15.7%であった。
- キリスト教式（教会式）、ご祝儀制以外の形式も一定数あり、形式の多様化が見られる。

■ 実施した挙式形式【トレンド編】（国内挙式実施者／単一回答）



■ 実施した披露宴・ウエディングパーティーの形式【トレンド編】

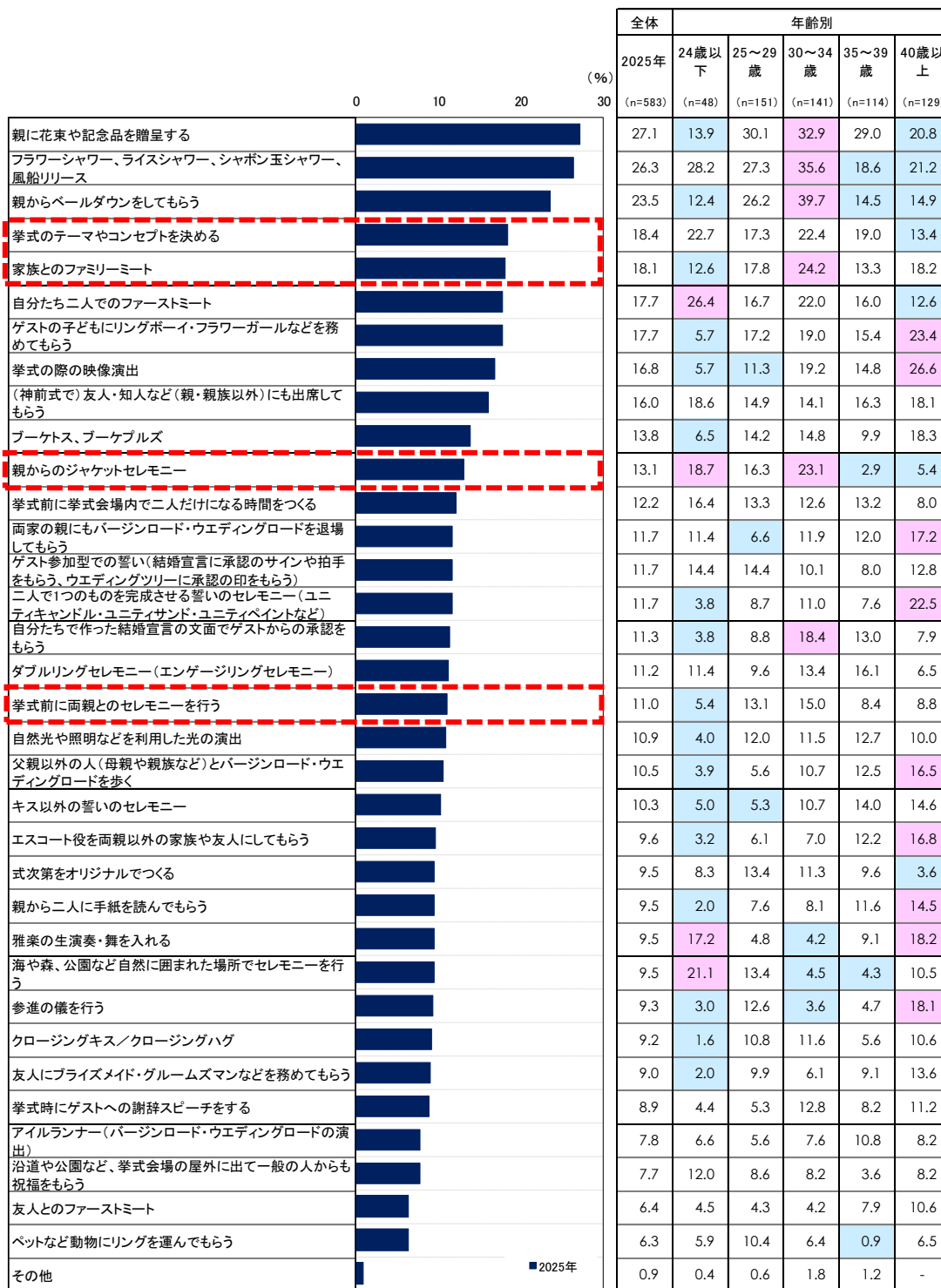
（国内での披露宴・ウエディングパーティー実施者／単一回答）



3) 結婚式に関して実施した演出

■ 挙式に関して実施した演出では、「挙式のテーマやコンセプトを決める」が定番演出に続き、「家族とのファミリーミート」や「挙式前に両親とのセレモニーを行う」など家族に関わる演出、「親からのジャケットセレモニー」のような新郎も主役になる演出が見られる。

■ 挙式に関して実施した演出【トレンド編】（国内挙式実施者／複数回答）



0.0 : 当年の全体より5ポイント以上高い項目
 0.0 : 当年の全体より5ポイント以上低い項目

式当日に親との時間を“しっかり”取ることが定番化している。挙式前の時間で行う「ファミリーミーティング」、親と話す・手紙を読むなど親と過ごす時間の「ペアレントタイム」は、両親への感謝の気持ちを個別に伝える場となっている。

※写真の無断転載はお控えください。ご利用になりたい場合はP1のお問い合わせ先までご連絡ください。

■ 挙式に関して実施した演出の事例



ファミリーミーティング

挙式会場内などで、新郎新婦同士だけでなく、両親とも晴れ着で対面する時間を取る。



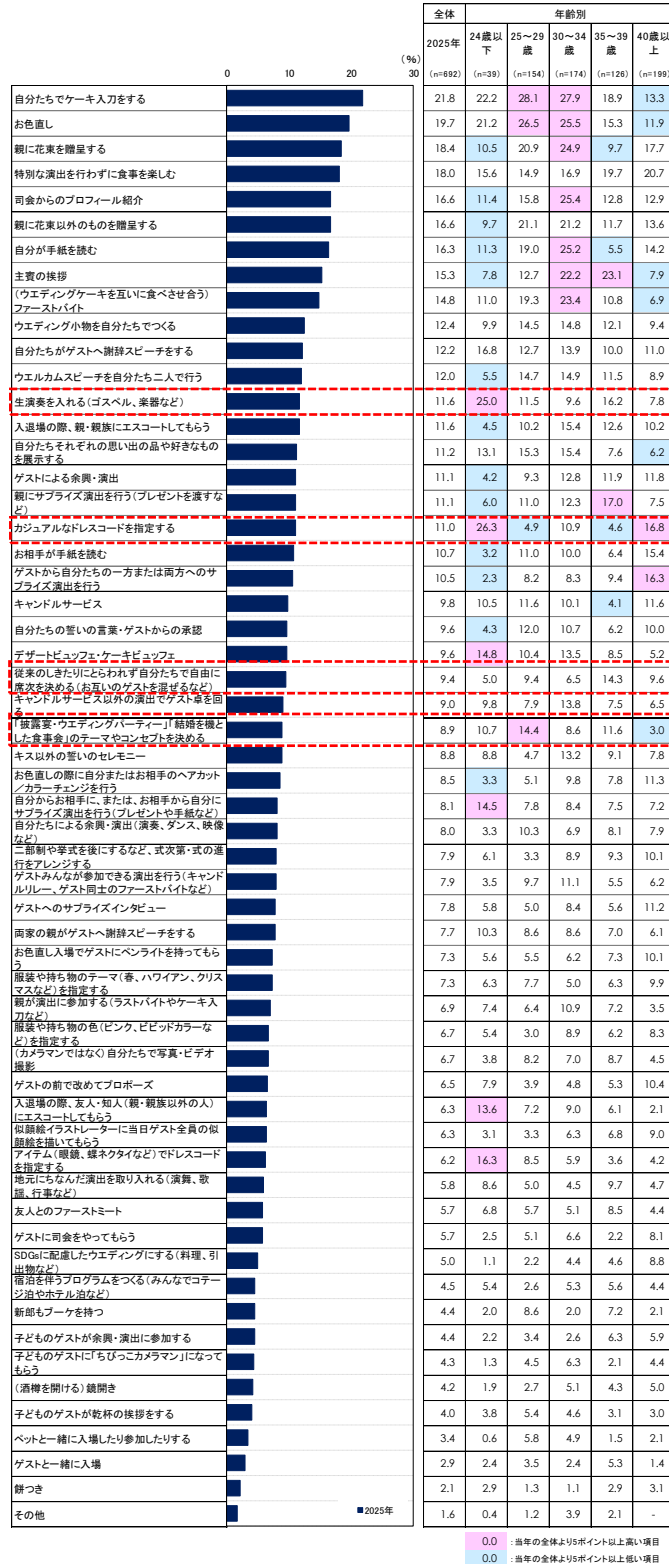
ペアレントタイム

ファミリーミーティングに加えて、手紙の朗読や記念品の贈呈など両親との時間をゆっくり過ごす。

幼い頃の写真をイーゼルに飾り、思い出を振り返りつつ相手の軌跡も知り、両家の親がつながりを深める場となった。

■ 披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会に関して実施した演出は、「自分たちでケーキ入刀をする」が21.8%で最も高く、「お色直し」「親に花を贈呈する」など定番演出が上位となっているが、「生演奏を入れる」「カジュアルなドレスコード」「自分たちで自由に席次を決める」「テーマやコンセプトを決める」など、自分たちらしさの表現方法が多岐にわたっている。

■ 披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会に関して実施した演出
【トレンド編】（国内での披露宴・ウエディングパーティーまたは結婚を機とした食事会実施者／複数回答）



0.0 : 当年の全体より5ポイント以上高い項目
0.0 : 当年の全体より5ポイント以上低い項目

新郎新婦が自分の好きなことを表現する事例、体験型のテーマを取り入れる事例が見られる。ただ単に定番外の自由な演出ということではなく、参列者や親への感謝を伝えること、会場の一体感をつくることを大切にしている演出となっている。

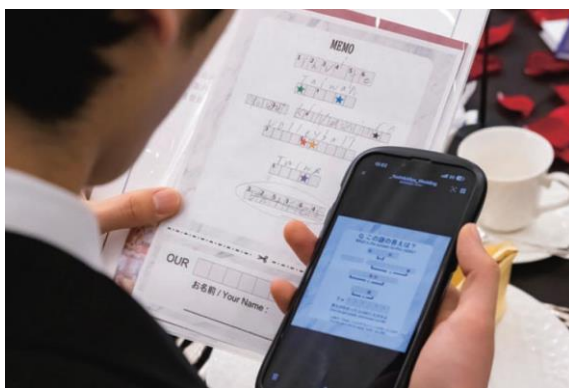
※写真の無断転載はお控えください。ご利用になりたい場合はP1のお問い合わせ先までご連絡ください。

■ 披露宴・ウェディングパーティー、結婚を機とした食事会に関して実施した演出の事例



好きなこと・得意なことを大切な人と共に行う演出

お色直しの再入場は、ミュージシャンでもある父と二人で歌いながら登場。この後、新郎がギター演奏で合流。完璧なパフォーマンスで会場を盛り上げた。



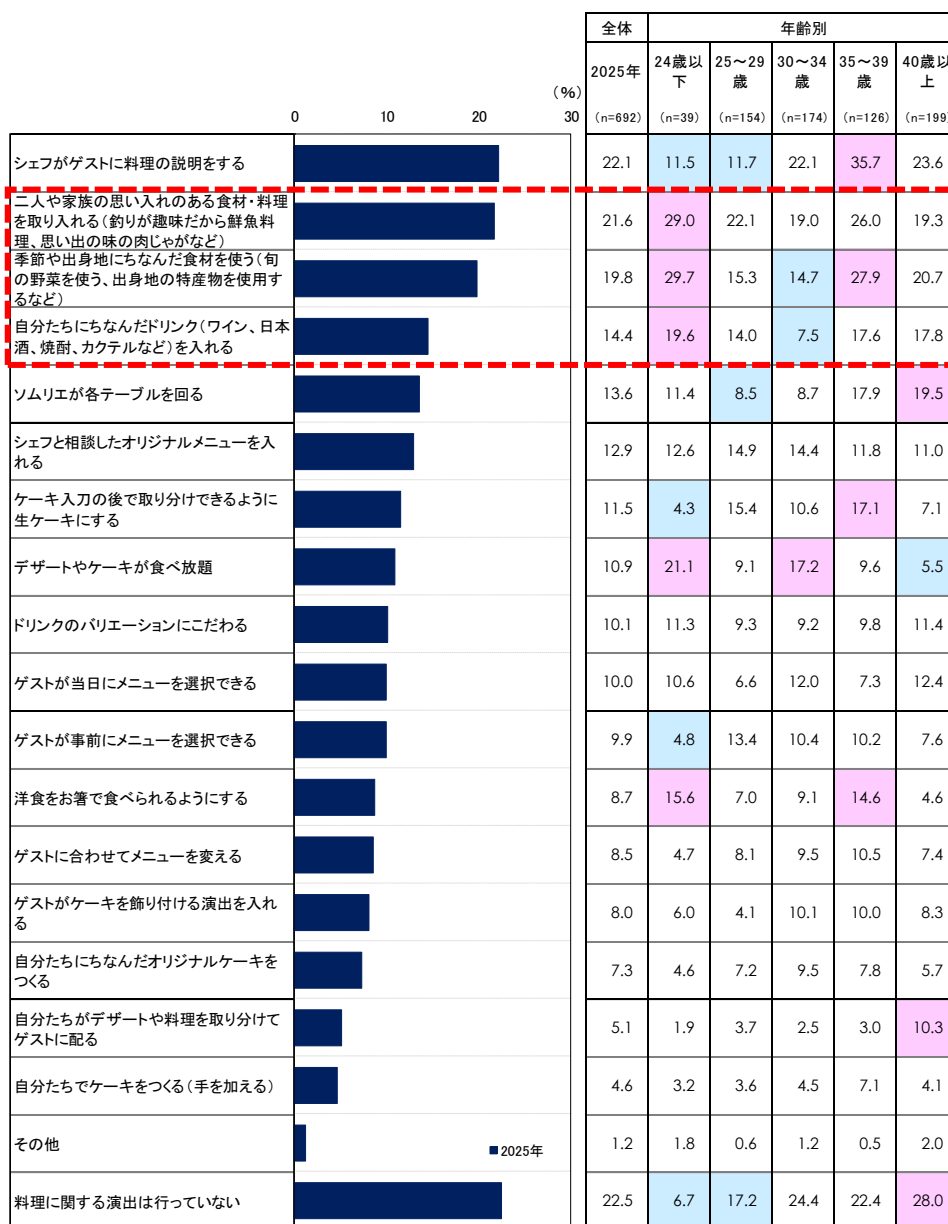
新郎新婦の好きなことを取り入れ、会場が一体となる演出

待ち時間も楽しんでほしいと受付と同時に謎解きを開始。新郎が準備した、二人にちなんだ問題と解説動画により、会場全体が盛り上がった。



- 披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会での料理に関して実施した演出は、「シェフがゲストに料理の説明をする」が22.1%で最も高い。
- 次いで、「二人や家族の思い出のある食材・料理を取り入れる」「季節や出身地にちなんだ食材を使う」「自分たちにちなんだドリンクを入れる」など、決まった料理や飲み物をそのまま提供するのではなく、自分たちならではのアレンジを加える演出が上位となっている。

■ 披露宴・ウエディングパーティー、結婚を機とした食事会での料理に関して実施した演出
【トレンド編】（国内での披露宴・ウエディングパーティーまたは結婚を機とした食事会実施者／複数回答）



0.0 : 当年の全体より5ポイント以上高い項目
0.0 : 当年の全体より5ポイント以上低い項目

4) コミュニティごとでの実施意向別のウエディングイベント実施率

- 結婚を機にイベントを実施するときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したいと思っていた人は、思っていなかった人よりも「挙式」「披露宴・ウエディングパーティー」「結婚を機とした食事会」「写真撮影」のいずれにおいても実施率が高い。
- コミュニティごとに複数回実施するような形式が今後求められていくと考えられる。

■ 結婚を機とした各ウエディングイベントの実施率【既婚編】

コミュニティごとでの実施意向別（全体／それぞれ単一回答）

		(%)								
調査数(補正後)		挙式	披露宴・ウエディングパーティー	結婚を機とした食事会 (会食スタイルの結婚式や親族中心の食事会)	写真撮影	スタジオ撮影	ロケーション撮影	エンゲージメントフォト	その他のフォトグラファーに依頼したフォト	
全体	821	48.9	43.1	33.8	61.5	43.9	32.0	17.7	17.5	
結婚を機にイベントを実施するときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したいと思っていた	当てはまる・計	336	55.8	49.6	41.3	66.7	44.1	38.0	24.7	22.4
	当てはまらない・計	270	42.9	38.9	25.9	55.7	40.4	25.3	10.2	9.7

※各ウエディングイベントについて、「1回」「2回」「3回」「4回以上」「これから実施する予定で、時期や内容もほぼ決まっている」のいずれかを回答した人を集計
 ※写真撮影:「スタジオ撮影」「ロケーション撮影」「エンゲージメントフォト」「その他のフォトグラファーに依頼したフォト」のいずれかを実施した人を集計